

環 境 係

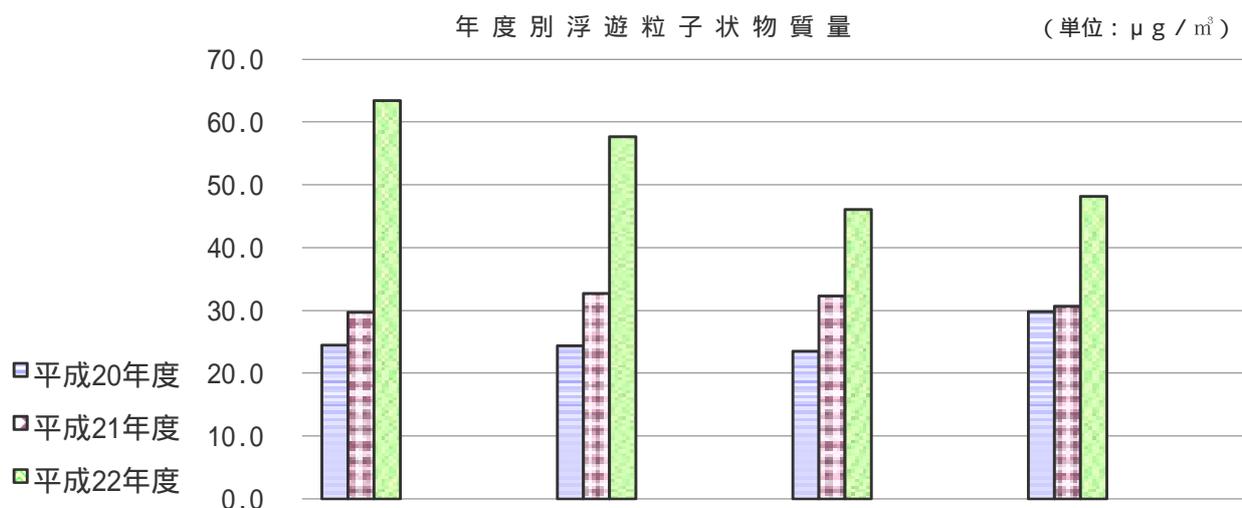
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成23年2月15日から同月18日まで

調査地点：市内4箇所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	水道事務所	市民会館	第二小学校
平成20年度	24.5	24.4	23.5	29.8
平成21年度	29.7	32.7	32.3	30.7
平成22年度	63.4	57.7	46.1	48.2

水道事務所の東京都移管に伴い、平成22年度の水道事務所の測定地点は松林会館に変更

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査項目	市役所		水道事務所		市民会館		第二小学校	
	平成22年度	前年度	平成22年度	前年度	平成22年度	前年度	平成22年度	前年度
鉛	0.012	0.008	0.013	0.008	0.010	0.008	0.011	0.008
マンガン	0.026	0.012	0.030	0.017	0.026	0.011	0.030	0.011
バナジウム	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002
全クロム	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.003

数値は、1日平均の3日間平均の量である。

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

水道事務所の東京都移管に伴い、平成22年度の水道事務所の測定地点は松林会館に変更

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成23年3月11日

調査事業所数：5事業所（燃料使用量300ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(Wt%)
			平成22年度	前年度	
A	特A	1,000	0.07	0.05	0.8
B	"				
C	A				
D	"	300	0.14	0.12	
E	"				
F	"	1,500	0.14	0.11	
G	"	800	0.08	0.06	
H	特A	1,200	0.08	0.05	
I	A				
J	"				
K	"				

Wt%：質量パーセント、検出下限値0.05

重油施設の廃止等に伴い、5事業所に変更

(3) 二酸化窒素

調査日：平成23年2月16日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成22年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.044	0.035	0.06
2	武蔵野橋南	0.042	0.034	
3	熊川内出	0.046	0.031	
4	第五ゲート前	0.061	0.043	
5	福生志茂南	0.055	0.027	
6	多摩橋北	0.039	0.026	
7	福生駅西	0.048	0.032	
8	福生加美	0.050	0.025	
9	福生加美平	0.046	0.026	
10	福生市役所前	0.045	0.028	
11	武蔵野台北	0.043	0.026	
12	第二ゲート前	0.062	0.050	

数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	0	3	2	1	6	1
区 北部	0	0	0	4	2	1	7	0
区 西部	0	0	0	5	1	1	7	3
区 南部	0	0	0	4	1	0	5	1
多摩北部	0	0	1	5	3	2	11	7
多摩中部	0	0	0	5	3	2	10	4
多摩西部	0	0	0	4	2	3	9	3
多摩南部	0	0	0	4	2	2	8	2
合計	0	0	1	34	16	12	63	21

多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道(雨水管)

pH(水素イオン濃度)...酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量)...微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質)...1μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川(河川)適用基準:環境基準 pH:6.5~8.5 BOD:2mg/ℓ SS:25.0mg/ℓ

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成22年度	8.3	7.9	8.7	7.9	8.0	8.1
	平成21年度	7.3	7.4	8.2	7.6	8.0	7.7
	平成20年度	8.3	8.3	7.8	8.2	8.2	8.0
BOD	平成22年度	0.4	0.7	0.9	ND	0.5	0.4
	平成21年度	0.3	1.7	1.0	0.6	1.0	ND
	平成20年度	0.6	0.8	2.6	1.2	0.5	1.3
SS	平成22年度	2.5	3.5	2.5	8.5	1.5	10.0
	平成21年度	0.5	2.5	1.5	0.5	ND	1.0
	平成20年度	ND	2.0	4.0	ND	ND	1.4

イ 下の川(河川)適用基準:環境基準 pH:6.5~8.5 BOD:2mg/ℓ SS:25.0mg/ℓ

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成22年度	7.8	7.5	7.7	7.5	7.6	7.7
	平成21年度	7.3	7.1	7.9	6.8	7.8	7.5
	平成20年度	7.7	7.8	7.7	7.7	7.9	8.0
BOD	平成22年度	0.2	ND	0.9	0.2	0.2	0.2
	平成21年度	0.3	3.7	0.9	0.2	1.0	0.5
	平成20年度	0.5	0.6	2.3	1.3	0.7	1.8
SS	平成22年度	0.7	2.7	0.7	1.7	ND	3.0
	平成21年度	1.3	15.3	1.3	0.3	11.3	ND
	平成20年度	ND	2.0	1.3	3.3	1.0	2.0

ウ 都市下水路(雨水管)適用基準:排水基準 pH:5.8~8.6 BOD:160mg/ℓ SS:200.0mg/ℓ

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成22年度	7.9	7.8	8.0	7.8	8.0	7.8
	平成21年度	8.2	7.7	8.5	7.8	7.6	7.8
	平成20年度	7.8	7.8	7.2	7.8	7.9	7.7
BOD	平成22年度	ND	ND	0.8	ND	ND	1.6
	平成21年度	ND	2.7	0.9	ND	2.4	ND
	平成20年度	ND	ND	2.0	1.1	1.8	2.1
SS	平成22年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	ND	13.0	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	ND	ND	ND	1.0	ND	2.0

エ 本町幹線(雨水管)適用基準:排水基準 pH:5.8~8.6 BOD:160mg/ℓ SS:200.0mg/ℓ

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月
PH	平成22年度	8.2	7.7	8.3	7.6	7.9	8.0
	平成21年度	7.8	7.2	8.7	8.0	9.5	8.5
	平成20年度	9.8	8.9	7.7	8.3	9.1	8.8
BOD	平成22年度	ND	0.6	0.9	ND	ND	ND
	平成21年度	4.8	3.3	1.3	ND	6.7	1.4
	平成20年度	0.8	1.6	2.0	2.5	0.5	1.4
SS	平成22年度	2.0	2.0	2.0	7.0	ND	1.0
	平成21年度	4.0	20.0	2.0	ND	6.0	1.0
	平成20年度	1.0	ND	3.0	3.0	ND	5.0

都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水
基準値を超えているものは、色付けをしている。

ND: 定量下限値未満

(2) 多摩川合同採水

採水年度	平成22年度		前年度	
	採水月日	6.3(木)	11.11(木)	6.4(木)
採水時間	午前11時30分		午前11時30分	
流量 m ³ /sec	3.9	4.2	1.92	2.98
気温	23.3	15.9	22.2	17.4
水温	19.8	14.0	20.2	13.8
外観	無色	無色	無色	無色
臭気	微川藻臭	無臭	無臭	無臭
透視度	>50.0	>50.0	>50.0	>50.0
pH(水素イオン濃度)	8.6	8.0	8.8	8.8
DO(溶存酸素) mg/l	10.0	10.4	11.0	10.8
BOD(生物学的酸素要求量) mg/l	0.6	<0.5	0.9	0.5
COD(化学的酸素要求量) mg/l	1.9	0.9	1.2	0.9
SS(浮遊物質) mg/l	2	1	1	1
T-CN(シアン化合物) mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb(鉛) mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
NH ₄ -N(アンモニア性窒素) mg/l	0.03	<0.01	0.01	0.05
T-N(全窒素) mg/l	1.20	1.47	1.6	1.2
PO ₄ -P(リン酸性リン) mg/l	0.006	0.013	0.005	0.010
T-P(全リン) mg/l	0.015	0.015	0.012	0.017
MBAS(陰イオン界面活性剤) mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジクロロメタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
四塩化炭素 mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1-ジクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
シス-1,2-ジクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,1-トリクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,1,2-トリクロロエタン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
トリクロロエチレン mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,3-ジクロロプロペン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
ベンゼン mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
チウラム mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
セレン mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
大腸菌群数 MPN/100ml	700	330	1700	700
カドミウム mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム mg/l	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素 mg/l	<0.005	<0.005	<0.001	<0.001
総水銀 mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB mg/l	不検出	不検出	不検出	不検出
1,4-ジオキサン mg/l	<0.005	<0.005	-	-
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/l	1.22	1.26	1.1	1.1
環境基準	水域類型A		水域類型A	

(3) 地下水

測定日：平成22年9月9日

検査項目	測定地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	15	2.9	12	7.1	1.8	9.6	6.2	4.7	6.2	5.6	10以下
塩化物イオン	mg/l	28	4	12	15	3	12	6	6	6	6	200以下
有機物 (TOCの量)	mg/l	1.8	0.9	0.5	0.5	1.2	0.3	<0.3	0.7	0.3	<0.3	10以下
一般細菌	個/ml	230	60	290	26	290	7600	66	540	150	100	100以下
大腸菌群数		検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	検出されないこと。
鉄	mg/l	0.31	<0.01	0.75	0.10	0.16	0.04	0.01	0.01	0.01	0.02	0.3以下
マンガン	mg/l	0.13	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.008	<0.005	<0.005	0.05以下
pH		6.6	6.9	6.9	6.8	7.5	6.6	6.7	6.8	6.8	6.6	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常でないこと。									
味		異常なし	異常でないこと。									
色度		2.4	<0.5	<0.5	0.6	1.8	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5度以下
濁度		0.5	<0.1	0.8	0.8	1.2	<0.1	0.1	0.3	0.2	1.0	2度以下
トリクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03以下
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.006	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3以下

基準値を超えているものは、色付けをしている。

平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成22年8月25日

単位：mg/l (PHと水温を除く。)

検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成22年度	前年度	平成22年度	前年度	
PH (水素イオン濃度)	6.8	6.5	6.7		5.8～8.6
PH測定時水温	25	22	25		40 以下
BOD (生物学的酸素要求量)	15.0	24.0	<0.5		160
COD (化学的酸素要求量)	9.3	18.0	9.0		200
SS	3	2	3		200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01		0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01		0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005		0.005
銅含有量	0.02	<0.05	0.06		3
亜鉛含有量	0.03	<0.05	0.12		5
溶解性鉄含有量	<0.2	<0.05	<0.2		10

(5) 雨水管(横田基地流入分)

測定日:平成22年11月4日

平成23年3月17日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線	
		11月	3月	11月	3月	11月	3月
pH(水素イオン濃度)		-	-	-	-	7.6	7.0
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	-	-	-	-	0.7	120
SS(浮遊物質量)	mg/ℓ	-	-	-	-	<1	28
ノルマルヘキサン抽出物	mg/ℓ	-	-	-	-	<1	5
フェノール類	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	-	-	-	-	3.60	0.08
六価クロム	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	<0.005
鉛及びその化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.001	<0.001
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.001	<0.001
総水銀化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.0005	<0.0005
アンモニア性窒素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.01	0.02
リン酸性リン	mg/ℓ	-	-	-	-	0.015	0.031
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.02	0.13
有機リン化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.1	<0.1
有機体炭素	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.5	14
セレン及びその化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.002	<0.002
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.005	<0.005
全リン	mg/ℓ	-	-	-	-	0.039	0.20
シアン化合物	mg/ℓ	-	-	-	-	<0.1	<0.1

-は流量不足につき、採水不能

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・交通騒音調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成22年 12月16～17日	平成22年 12月21～22日	平成22年 12月27～28日	平成23年 1月4～5日	平成22年 12月20～21日
上り	24,126	11,478	10,536	4,452	12,036
下り	25,578	11,610	11,244	4,128	8,568
合計	49,704	23,088	21,780	8,580	20,604
前年度合計	53,014	23,280	18,822	8,386	19,638

都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成22年 12月16～17日	平成22年 12月21～22日	平成22年 12月27～28日	平成23年 1月4～5日	平成22年 12月20～21日	
騒音(LEQ)	昼間	74	65	71	59	69
	前年度	80	63	59	55	62
	夜間	73	66	69	57	65
	前年度	81	69	56	50	61
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

LEQ = 等価騒音レベル

(2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	810	631	172	7	94	83
5	636	480	125	31	96	84
6	458	335	109	14	100	86
7	814	598	206	10	93	82
8	918	723	174	21	97	87
9	651	476	156	19	94	86
10	710	507	193	10	94	83
11	915	684	216	15	95	85
12	714	522	175	17	95	83
23年 1	944	745	178	21	95	86
2	508	389	110	9	95	85
3	721	543	103	75	96	86
合計	8,799	6,633	1,917	249		
前年度合計	8,507	6,605	1,622	280		
平均	733	553	160	21	95	85

dB : デシベル
WECPNL : 加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	276	167	109	0	88	73
5	201	138	63	0	85	69
6	123	68	54	1	86	69
7	292	166	124	2	87	73
8	384	252	130	2	87	72
9	191	102	89	0	88	72
10	259	152	106	1	86	71
11	368	228	134	6	86	79
12	249	144	102	3	87	73
23年 1	336	228	108	0	86	71
2	171	119	51	1	90	79
3	168	110	49	9	95	78
合計	3,018	1,874	1,119	25		
前年度合計	2,693	1,921	746	26		
平均	252	156	93	2	88	73

dB : デシベル
WECPNL : 加重等価持続感覚騒音レベル

(3) 環境騒音調査 市内29地点(46箇所)

測定日：平成23年3月23日(水)から同月31日(木)まで【昼間】

測定地点			騒音の大きさ(dB)			支配音
No	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成22年度	前年度		
1	準工業	一般地域	63	55	60	一般音
2	準工業	一般地域	51	47	60	〃
3	第1種住居	沿道	71	75	70	自動車音
	第1種低層	後背地	46	55	55	〃
4	近隣商業	沿道	70	71	70	〃
	近隣商業	後背地	59	57	60	〃
5	第1種低層	一般地域	51	50	55	自然音
6	第1種住居	沿道	68	70	70	自動車音
	第1種低層	後背地	53	52	55	〃
7	近隣商業	沿道	79	79	70	〃
	第1種低層	後背地	55	57	55	〃
8	第2種低層	沿道	65	56	60	〃
	第1種低層	後背地	60	49	55	〃
9	第1種中高層	沿道	63	65	65	〃
	第1種低層	後背地	43	48	55	〃
10	第1種低層	後背地	46	47	55	一般音
	第1種中高層	沿道	60	58	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	65	68	70	〃
	第1種低層	後背地	49	53	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	53	48	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	60	59	60	〃
14	近隣商業	一般地域	51	54	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	56	54	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	74	70	70	〃
	第1種低層	後背地	59	57	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	53	41	55	〃
18	近隣商業	沿道	68	71	70	自動車音
	近隣商業	後背地	60	51	60	〃
19	第1種低層	一般地域	50	53	55	〃
20	第2種中高層	沿道	66	64	70	〃
	第1種中高層	後背地	57	48	55	一般音
21	商業	一般地域	66	59	65	自動車音
22A	商業	一般地域	60	59	65	〃
22B	商業	沿道	63	65	70	〃
	第2種低層	後背地	54	53	55	〃
23	第1種中高層	沿道	70	72	60	〃
	第1種低層	後背地	54	53	55	〃
24	準工業	一般地域	50	46	65	一般音
25	近隣商業	沿道	70	68	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	46	46	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	51	47	60	〃
27	工業	沿道	68	69	70	自動車音
	工業	後背地	50	53	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	48	42	60	〃
29	第1種住居	沿道	65	66	70	自動車音
	第1種住居	後背地	49	56	55	〃

後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	23年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	3	12
アスベスト相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音・振 動	2	2	2	0	4	3	0	1	0	0	0	1	15	14
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	21	27	18	34	25	16	16	9	4	13	10	2	195	271
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	3	2	0	0	2	0	0	1	0	1	10	5
雑 草	1	0	1	4	1	6	1	3	1	0	0	0	18	10
そ の 他	3	5	6	8	8	7	1	2	3	2	0	2	47	50
合 計	28	34	30	48	38	33	20	15	10	16	11	6	289	365

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 22年度	前年度	区 分	平成 22年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	1	2
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	1
工 場 変 更 認 可	1	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	2
工 場 変 更 認 定	1	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	3	2	特 定 施 設 設 置 届	0	0
工 場 廃 止 届	1	1	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	0	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	8	16
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	5	3			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 22年度	前年度	区 分	平成 22年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	0	苦 情 処 理	226	215
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	153	151
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	3			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア 愛犬クラブ ドッグラン・犬のしつけ教室

	実施場所	参加者	犬
第1回	南公園	5人	5匹
第2回	フレンドシップパーク	6人	5匹
第3回	南公園	23人	11匹

イ 福生地域猫の会

第1回～第15回 平成22年度活動報告会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議

第1回～第8回 熊川げんき広場バザー出店・福生さくら祭バザー出店

第3回福生にゃんにゃんフォーラム開催(平成22年10月17日)

ウ 環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第28号～第29号

エ ふっさ花とみどりの会

第1回 活動 草取り作業

第2回 会議 菜の花の刈取り、コスモス及び彼岸花の植栽について、やなぎ通り・16号の花いっぱい運動について、花いっぱいコンテストについて

第3回 活動 やなぎ通り花いっぱい運動

第4回 会議 菜の花の種取り及び次回の種まきについて、16号花いっぱい運動について、花いっぱいコンテストについて、16号ヤシの新聞報道について

第5回 活動 種取り作業

第6回 活動 16号花いっぱい運動

第7回 活動 肥料入れ作業

第8回 活動 コスモス及び彼岸花の植栽

第9回 会議 コスモス及び彼岸花の植栽とその経過について、花いっぱいコンテストについて、段ボールコンポストによる堆肥の作り方について(実演)、フラワーゾーンに関する経過報告について

第10回 審査 花いっぱいコンテスト審査会

第11回 審査 花いっぱいコンテスト審査会(現地審査)

第12回 会議 フラワーゾーンの草取り状況及び次回の草取り日程について、花いっぱいコンテストの報告について、フラワーゾーンに関する結果報告について、16号ヤシの木について

第13回 会議 フラワーゾーンについて、花いっぱいコンテストについて、16号及びやなぎ通りの花いっぱい運動について、やなぎ通りプランターの落書きについて

第14回 会議 フラワーゾーンについて、コンテスト表彰式日程及び賞品について、やなぎ通り花いっぱい運動日程について、アンケートについて

第15回 表彰式 花いっぱいコンテスト表彰式

第16回 視察 新花壇(中央公園菫園)の視察

第17回 会議 フラワーゾーン視察報告及び中央公園花壇の占用部分の検討について、表彰式の報告について、やなぎ通り花いっぱい運動について

第18回 活動 やなぎ通りのプランターの手入れ

第19回 活動 やなぎ通り花いっぱい運動

- 第 20 回 会議 フラワーゾーンの活動(コスモスの刈取り)日時について、コンテストの進捗状況報告について、表彰式の予定について、16 号花いっぱい運動について
- 第 21 回 活動 16 号草取り作業
- 第 22 回 活動 16 号花いっぱい運動
- 第 23 回 活動 コスモス畑草刈り
- 第 24 回 会議 コスモスの刈取り作業報告、中央公園の花壇の現状(萩の抜根及び耕うん予定)と使用予定について、花いっぱいコンテストの進捗について、審査会の日時について
- 第 25 回 審査 花いっぱいコンテスト第 1 次審査
- 第 26 回 会議 中央公園の花壇の現状(抜根の報告)について、コンテストについて
- 第 27 回 会議 花いっぱい運動で植える花苗及び株数について、フラワーゾーンでの活動予定について、花いっぱいコンテストについて
- 第 28 回 表彰式 花いっぱいコンテスト表彰式
- 第 29 回 会議 中央公園花壇の現状(耕うん報告)について、22 年度決算及び 23 年度予算について

(2) 福生市環境審議会

- 第 1 回 平成 22 年 11 月 19 日 ・福生市環境基本計画実行計画(平成 22~24 年度)について
 - ・環境基本計画の改定計画策定の進捗状況について
- 第 2 回 平成 23 年 2 月 17 日 ・環境基本計画中期実施計画(案)について

(3) ふっさ環境フェスティバル(平成 22 年 6 月 6 日)

出展団体(参加団体) 39 団体(一般、企業・事業者・フードブース)
 来場者 3,700 人
 新宿エコレンジャーショー、岩崎紘昌氏 講演会&鑑定会、リユース食器使用による
 フードブース出展ほか

(4) 市民環境大学 “ふっさ ECO カフェ” 全 6 回

畑で大豆を育てる農作業体験を軸に、福生の自然・水循環や地産地消などについて講座を展開し、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考えるきっかけ作りを目指した。

- 第 1 回 熊川分水めぐりと大豆種まき (14 人)
- 第 2 回 大豆定植 (13 人)
- 第 3 回 湧水めぐりと酒蔵見学 (10 人)
- 第 4 回 枝豆収穫 (12 人)
- 第 5 回 草木染め体験 (13 人)
- 第 6 回 育てた大豆で豆腐作り (20 人)

(5) 水辺の楽校 “多摩川で遊ぼう” 全 12 回

- 第 1 回 ヨモギ団子を作って食べよう (40 人、30 人、10 人)
- 第 2 回 多摩川の魚を捕まえよう (45 人、25 人、14 人)
- 第 3 回 環境フェスティバルに参加しよう! ~ プールのヤゴ救出作戦 ~ (フェスティバルにつき、人数把握せず。)
- 第 4 回 多摩川の魚を捕まえよう (50 人、30 人、8 人)

- 第5回 多摩川の源流へ行こう (14人、0人、8人)
 - 第6回 いかだで冒険、多摩川で泳ごう (30人、20人、10人)
 - 第7回 バッタをゲット&希少種を守ろう (23人、15人、9人)
 - 第8回 多摩川の魚を捕まえよう (雨天のため中止)
 - 第9回 多摩川バードウォッチング (21人、9人、7人)
 - 第10回 手作り凧あげ&ネイチャークラフト (33人、19人、7人)
 - 第11回 川原のゴミ拾い&餅つき大会 (30人、20人、8人)
 - 第12回 多摩川でキクイモ掘り (19人、8人、7人)
- ()内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示

(6) 水辺の楽校 “水辺の楽校ボランティア養成講座” 全5回

- 第1回 川原の草花を食べよう (22人)
- 第2回 散策路草刈り&アウトドアクッキング (中止)
- 第3回 多摩川で釣った魚を食べよう (14人)
- 第4回 いかだを作ろう (10人)
- 第5回 マス・ヤマメ釣り解禁 釣り教室 (39人)

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
146	66	66	109	199	48	35
11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
60	103	125	100	38	1095	869

開館日数：113日(土・日曜及び小・中学校夏休み期間)

イベント(水辺の楽校)利用者も含む。

(8) 環境学習教員研修

- 第1回 ・身近な地球温暖化問題と多摩の自然について (23人)
・温暖化問題を学ぶワークショップ
- 第2回 ・フィールドで学ぶ (20人)
「水質調査、生物調査、川の安全学習」
- 第3回 ・自然のなかでの遊びから気づく (15人)
「ネイチャーゲーム、プロジェクトワイルド」
- 第4回 ・福生の水と緑を歩く (14人)

(9) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
31匹	24匹	55匹

(10) 福生市環境基本計画改定

市民・事業所・市の協働を基調に、人と自然のまちづくりの課題に対応していくために、市民と行政が一体となって具体的に取り組むために策定

平成22年 4～5月 ・環境基本計画中期実施計画策定方針の検討

6～7月 ・市民会議提案「戦略プロジェクト」の事業化シート作成、担当部署の割振り

8～9月 ・各担当部署による「戦略プロジェクト」事業化シートの実施

- ・環境基本計画中期実施計画骨子（案）の作成
- 10月 ・各担当部署ヒアリング（第1回）の実施（担当部署・事業内容の調整）
- 11月 ・環境基本計画中期実施計画骨子（案）の修正
 - ・環境審議会への環境基本計画中期実施計画骨子（案）の提示及び意見シートの実施
- 12月 ・各担当部署ヒアリング（第2回）
 - ・環境基本計画中期実施計画（案）の作成
- 平成23年1月 ・パブリックコメントの実施
 - ・環境基本計画中期実施計画（案）の修正（パブリックコメント、審議会意見の反映）
- 2月 ・環境審議会により環境基本計画中期実施計画（案）の審議
- 3月 ・環境基本計画中期実施計画の作成・配布

6 地球温暖化対策

（1）福生市地球温暖化対策設備助成金

設備種別	申請件数	助成金額計
太陽光発電システム	39	5,397,000
太陽熱利用システム	1	30,000
ヒートポンプ給湯器	39	1,950,000
潜熱回収型給湯器	23	460,000
ガス発電給湯器	2	173,000
燃料電池	0	0
ペレットストーブ	0	0
合計	104	8,010,000

（2）環境家計簿普及事業

福生市内全戸訪問し、環境家計簿への取組を依頼した。

訪問回収期間：平成22年6月3日～11月30日

訪問回収総件数：40,554件 再訪問回数含む。

回収件数：1,806件

（3）福生スクラム・マイナス50%協議会（平成22年9月29日）

- 第1回
- ・役員改選について
 - ・21年度事業報告及び決算報告
 - ・今後の事業について

（4）普及啓発等事業の実施について

ア 福生環境フォーラム

「異常気象と環境問題～どうなる地球温暖化～」(参加人数：140人)

講師 森田正光氏

「2050年の低炭素都市福生を市民と考える PART3」(参加人数：140人)

講師 糸長浩司氏(日本大学生物資源科学部教授)

- イ ふっさライトダウンキャンペーン 2010 (全2回)
- ウ ふっさ6万人のキャンドルナイト(参加者480人)
- エ みどりのカーテン大作戦(参加家庭19家庭)

7 環境マネジメントシステムの運用

平成20年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード(LAS-E)』を運用。平成21年7月にLAS-E第1ステージ合格

(1) 外部監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成23年2月4日、8日及び9日	60 実行部門及び推進組織	LAS-E規格の要求事項及び福生市環境マネジメントシステムの運用状況に関する監査

(2) 内部監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成23年1月8日	環境マネージャーが所管する10 実行部門+図書館	職員で組織された内部監査委員によるLAS-E規格の要求事項及び福生市環境マネジメントシステムの運用状況に関する監査

(3) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	4回	21年度実績の検証と22年度目標設定について
目標設定チーム会議	1回	21年度独自目標の監査と22年度目標の審議について
環境マネージャー会議	6回	21年度実績の検証と22年度目標に向けた具体的取組手法の検討、監査等について

(4) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
LAS-E 新人研修会	平成22年4月2日	平成22年度新規採用職員及び派遣職員	LAS-Eについて全般
LAS-E ハンドブック説明会	平成22年7月21日及び22日	職員、嘱託職員、中学校職員(教員、市・都事務職員、用務職員)	職員ハンドブックを基に具体的取組を解説
LAS-E ハンドブック説明会	平成22年10月7日	職員、嘱託職員、中学校職員(教員、市・都事務職員、用務職員)	職員ハンドブックを基に具体的取組を解説
監査委員研修会	平成22年12月16日	市民・職員監査委員	監査の実施方法を解説
監査直前説明会	平成23年1月28日	全職員(希望者)	監査の受け方を解説

8 緑化推進事業

(1) 出生記念樹配布(キンモクセイ・ツツジ)

第1回目

実施日 平成22年5月22日(土)

対象者 平成21年9月1日から平成22年2月28日生まれまで

該当者数 272人 配布数 90本 配布率 33%

配布内訳 モクセイ(大) 14本 モクセイ(小) 36本 ツツジ 40本

第2回目

実施日 平成22年11月20日(土)

対象者 平成 22 年 3 月 1 日から同年 8 月 31 日生まれまで
 該当者数 270 人 配布数 81 本 配布率 30%
 配布内訳 モクセイ(大) 10 本 モクセイ(小) 41 本 ツツジ 30 本

(2) 草花の苗配布

苗の種類	配布数(株)
サルビア	16,200
マリーゴールド	18,700
パンジー	15,039
ポタン	8,000
ビオラ	14,731
合計	72,670

(3) プランター等植栽事業

植栽地点	内 容
やなぎ通りプランター	(春) センパペゴニア 1,100 株 (秋) ノースポール 2,200 株 チューリップ 1,760 球
国道 16 号線ハナミズキ植樹ます	(春) センパペゴニア 1,166 株 (秋) ノースポール 1,060 株 チューリップ 848 球

9 緑化保存事業

(1) 保存樹林地

種 別	件数(件)	筆数(筆)	面積(m ²)
宅地介在山林	6	12	8,025.00
一般山林	4	7	1,348.00
合計	10	19	9,373.00

(2) 保存樹木

件 数	本 数
44 件	206 本

(3) 保存生垣

件 数	箇所数	延 長
163 件	169 箇所	3572.2m

(4) アメリカシロヒトリ防除事業

実施期間 平成 22 年 4 月から同年 10 月まで
 箇所数 3 箇所
 本数 56 本